



Tech·Ed 2010 はエンジニアの皆さんの「現場力」アップを強力に支援します!

現在の経済環境においてトレーニング コストの確保も厳しい中、管理職や人事部の方にとって有償コンファレンスに部下の方を送り出していたくことは簡単なことではありません。最新の技術でスキル武装したいエンジニアの方にとっても Microsoft Tech·Ed Japan に参加することが、どれほど会社に貢献でき、自分にとってメリットとなり得るのか、とても悩まれることになるのではないのでしょうか。そこで、今年は皆さんが参加のご決断をされるうえでお役に立ちたいとの想いから、**スタッフの考える今年の Tech·Ed の魅力**をこの 1 ページに凝縮してお届けします。

クラウド コンピューティングに向けて既存のスキル セットをどう活用すべきなのか?

Microsoft Tech·Ed Japan 2010 は国内最大規模の技術者向け有償コンファレンスで、7 つのトラックと、100 にもおよび 実践的な技術セッションで構成されています。今年のセッションは、例年よりも内容が吟味されていますので、ご期待ください。セッション トラックは以下のように決定しました。

【セッショントラック】

クラウド プラットフォーム & サービス

開発ツール & フレームワーク

プロダクティビティ プラットフォーム

データ管理 & データ アクセス

サーバー プラットフォーム

仮想化

クライアント プラットフォーム

マイクロソフトのクラウド アプローチは選択肢の豊富さに特徴があります。エンジニアの方にとっては完全に新しいスキル セットではなく、今お持ちの技術を継続してオンプレミスで利用する、Windows Azure をはじめとするパブリック クラウドに適用する、さらにはハイブリッドなアプローチも想定されています。今の路線のままスキル アップすることでクラウドに対応する準備ができるのです。

参加する直接的なメリットは何だろう?

- ・マイクロソフトの複数の最新技術を包括的に学ぶ最も効率的な機会が得られます。
- ・今後の技術投資のあり方を左右する可能性のある情報を手し、ビジネスの意思決定者に確実にかつ正確に伝えることができます。
- ・マイクロソフトの専門家やパートナーから直接、新製品や商品の重要性を聞き、現場で議論することができます。
- ・会場でしか受け取れない口コミ情報や会場でしか醸成できない人脈を得ることができます。

会場でも会社に戻ってからも自身の技術に磨きをかけたい、みんなに情報共有したいけど?

- ・会場に設置された実機を使用したハンズオン トレーニングで最新の技術を自分のペースで学ぶことができます。講師は有料の 1 週間認定コースなどを日常担当されている、まさにトレーニングの専門家、マイクロソフト認定トレーナーの皆さんですので、安心感のある確かな学びが提供されます。
- ・会場で受講するセッションだけでなく、実施されるほぼすべてのセッションに関して後日ストリーミングや資料が提供されます。安心して会場でさまざまな体験や人脈作り専念いただき、会社に戻ってからぜひ資料を使用して社内勉強会にお役立てください。

日常で出会う機会を持つことが難しい、同業者やマイクロソフトの専門家との交流もできるの?

- ・今年は来場者の交流の促進を目的とした Attendee Party を復活させます!
- ・BOF "Birds of a Feather" と呼ばれるインタラクティブなセッション、日常的な興味や悩みを共有できる Women In Technology セッション、昼食をとりながらセッション講師やマイクロソフトの専門家と直接会話ができる PeerTalk Lunch は毎年大好評です。
- ・各テクノロジーの専門家が常駐するラウンジなど、新しい情報交流の機会を今年はさらに増やします。
- ・同じ悩みを持った日本中から集まる IT 業界のエンジニアの仲間を作り、人脈の面でも新たなステップ アップができます。

Tech·Ed スタッフ一同